

マレーシアの産官学連携プログラム CREST が当社製 MOCVD 装置を採用

大陽日酸株式会社 国際事業本部 イノベーション事業部(以下、大陽日酸)は、マレーシアの産官学連携プログラム Collaborative Research in Engineering, Science and Technology(CREST)から研究開発用 MOCVD 装置「SR4000-HT」を受注しましたのでお知らせいたします。同装置は 2017 年の下半期に納入される予定です。

CREST はマレーシアの複数の大学とともに米国カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校 (UCSB) と共同研究プロジェクトを開始しており、“LED2.0”と呼ばれる次世代 LED 技術を共同開発することにより、マレーシア LED 産業の強化・発展に資するとしています。この共同開発のプラットフォームとして選定されたのが、UCSB やマレーシアの最高学府であるマラヤ大学(Universiti of Malaya : UM)でも採用され、高い評価を受けている研究開発用 MOCVD 装置 SR シリーズです。受注した SR4000-HT は同プロジェクトの中核をになうマレーシア科学大学(Universiti Sains Malaysia : USM)に設置される予定です。

大陽日酸では、マレーシアで最も権威の高い UM、USM/CREST という両研究機関による研究開発用 MOCVD 装置採用を通じ、今後発展が期待される東南アジアでの高付加価値 LED マーケットでの優位性を高めてまいります。

Collaborative Research in Engineering, Science and Technology(CREST)

CREST は大学の研究室と企業との連携を深め技術移転の加速化を狙う、企業と政府が資金を提供するプログラムです。

マレーシア科学大学 Universiti Sains Malaysia (USM)

1969 年に設立された USM は、科学技術研究に注力する研究拠点としてマレーシア政府の指定を受けた大学の一つです。学生数は約 2 万 5 千人で、キャンパスはマレー半島の西方、マラッカ海峡に位置するペナン島にあります。

マラヤ大学 Universiti of Malaya (UM)

1905 年にシンガポールのエドワード王 7 世により設立された医科大学にルーツをもつマレーシア最古の国立大学です。マレーシア随一の最高学府として知られ、マハティール元首相を初めとする著名な政治家を輩出してきました。留学生を含む学生数は約 2 万 5 千人で、1962 年に開設された現在のキャンパスは首都クアラルンプールの南西に位置しています。

以上